

副研究科長ご挨拶



貴重な大学院時代を大切に 中野 由紀子 副研究科長（教育担当）

この度、医系科学研究科 副研究科長（教育担当）を拝命いたしました。医系科学研究科では医学の知識の深化だけでなく、研究能力や自己表現力を養い、自立した研究者となれる様な教育が必要です。大学は同世代の仲間が集まり、一緒に臨床や研究に携わることができる数少ない施設です。この貴重な時期を大事にして有意義に過ごし、自らを高めて、多くの患者さんを救える臨床医師として、あるいは医学界を牽引する研究者として活躍して欲しいと思います。丸山研究科長を中心に、グローバルな視点で人類の健康増進に貢献できるような研究科教育を目指して行く上で少しでも寄与できるように努力していきたいと思っておりますので、どうかよろしく申し上げます。



研究者間の連携強化による研究推進

古武 弥一郎 副研究科長（研究担当）

大学院医系科学研究科 副研究科長（研究担当）を拝命しました薬学の古武でございます。これまで通り、それぞれの研究者が強みを活かして研究を推進していただくのはもちろんのこと、運用が始まった「広大霞Lab Secretary」を活用することにより研究者間の有機的な連携を強化し、スケールの大きな論文、チームを組んでの組織的な大型研究費の獲得などにつなげるお手伝いをさせていただきたく所存であります。微力ながら丸山研究科長をサポートし、研究科の益々の発展に尽力したいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



医系科学研究科のさらなる発展を目指して

岡村 仁 副研究科長（企画担当）

この度、医系科学研究科 副研究科長（企画担当）を拝命いたしました。大段前研究科長のもとで3年間、副研究科長を務めさせていただき、主として多職種連携教育（Interprofessional Education: IPE）に関わってきました。IPEは徐々に定着してきていますが、新たに採択された感染症医療人材養成事業においても重要な位置づけとなっており、更なる展開が期待されています。丸山研究科長のもと、IPEをはじめ医系科学研究科の特色を活かしたさらなる企画を立案・発展させていきたいと考えています。引き続きご指導賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



国際化による研究力強化の推進 藤井 万紀子 副研究科長（国際担当）

この度、医系科学研究科 副研究科長（国際担当）を拝命致しました。「広島大学国際戦略2022」で示されている、国際共同研究の推進や国際的研究ネットワーク構築は、グローバルな研究の場への参画のみならず、先進的な研究のアイデアや技術へのアプローチを容易にします。日本を含め世界中で行われている研究はいつの時代もどの分野においても夢や希望に溢れております。大学院生や若手の先生方には是非様々な機会を得て海外留学や共同研究に挑戦していただきたいと考えております。本研究科では既に国際化に関する多くの取り組みが行われていますが、より研究力強化に結びつけていけるよう務めさせていただきます。